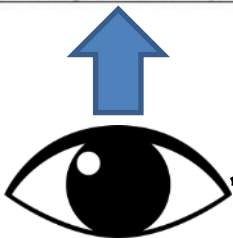
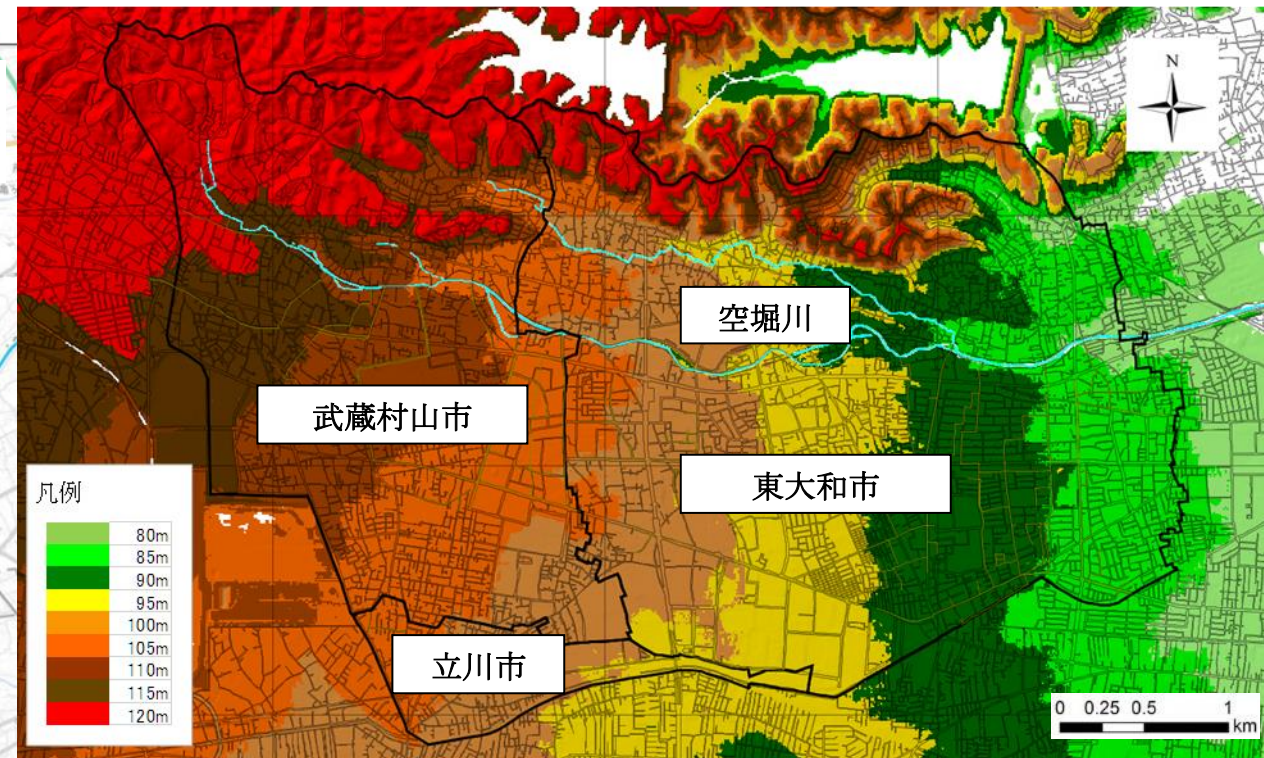
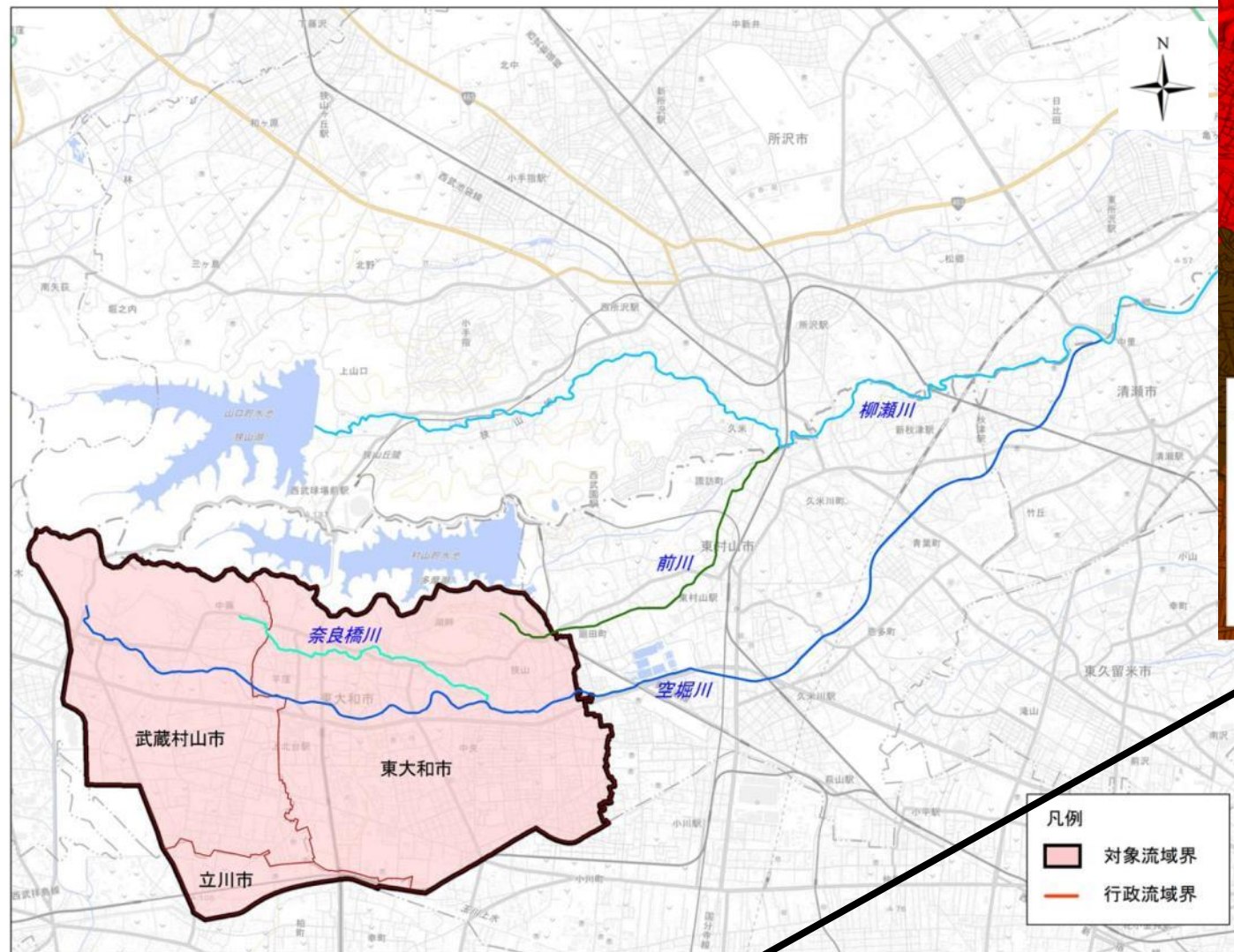


現況調査結果・現況解析結果について

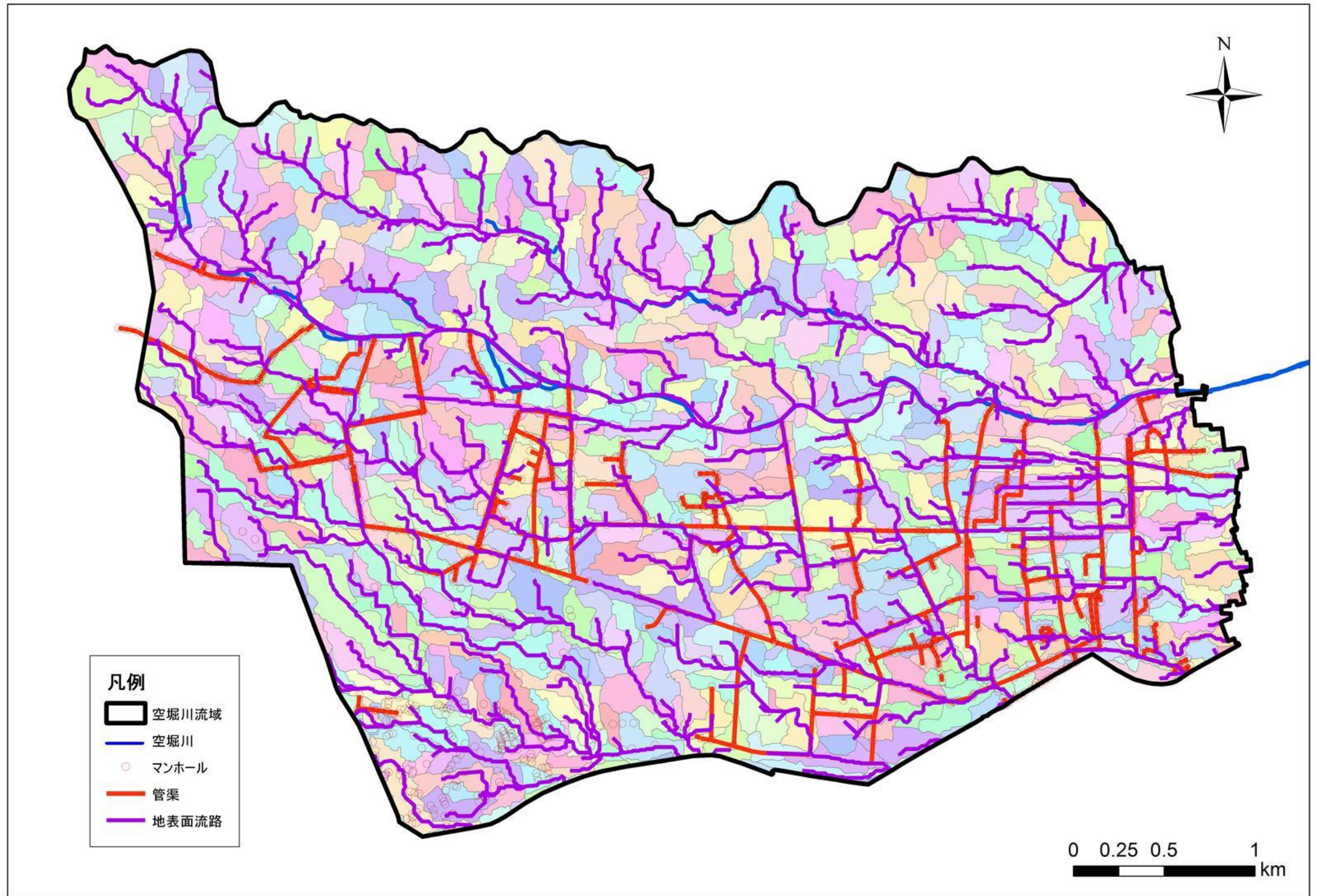
平成29年12月20日
空堀川流域広域雨水整備検討協議会
第1回幹事会

基礎調査 (対象地区及び地盤高)

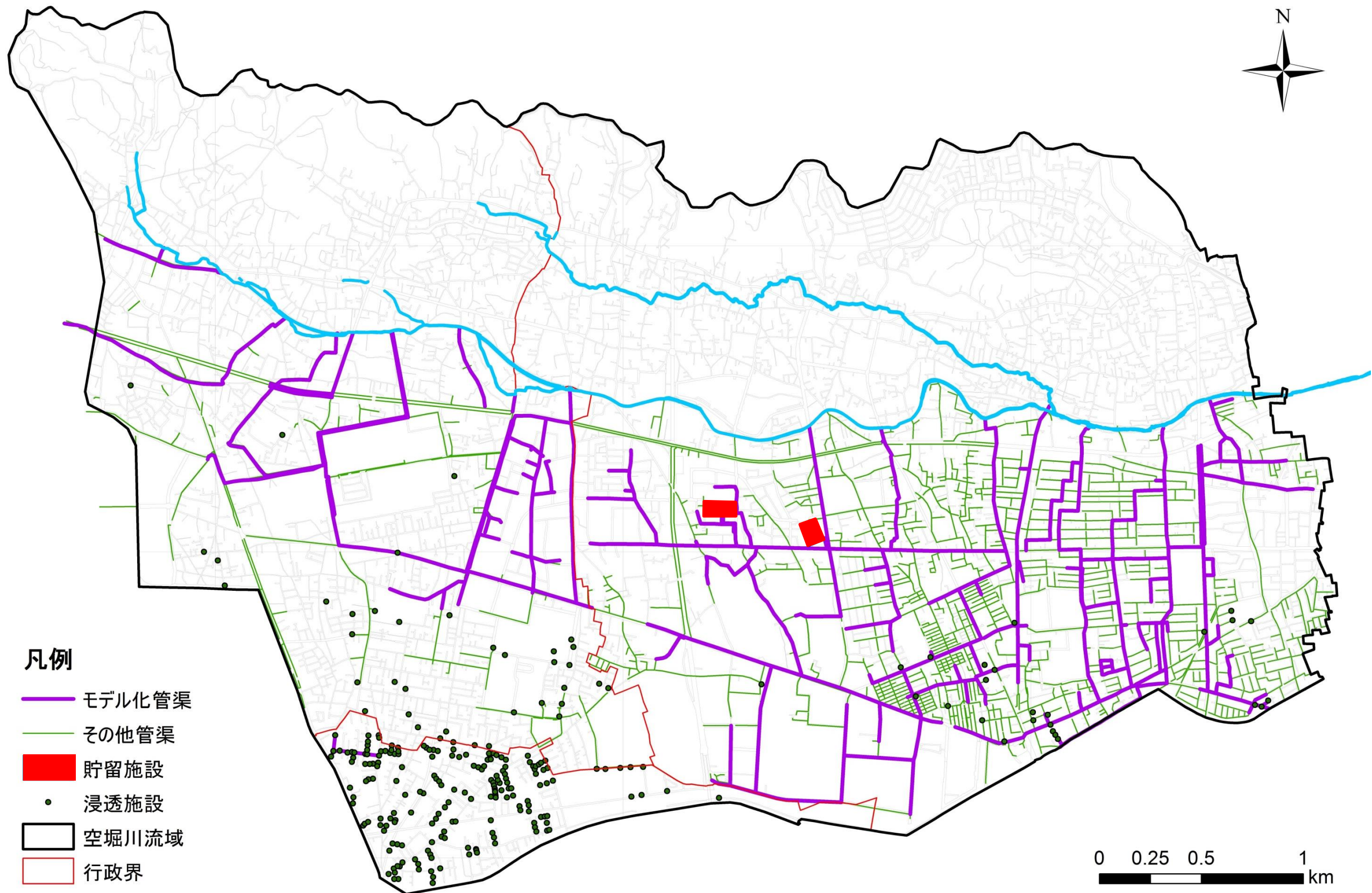
対象地区は、空堀川上流右岸流域であり、空堀川に沿って東に傾斜しているが、武蔵村山市南部及び立川市部分については、概ね南東に向けて傾斜している。



基礎調査(表面流路)

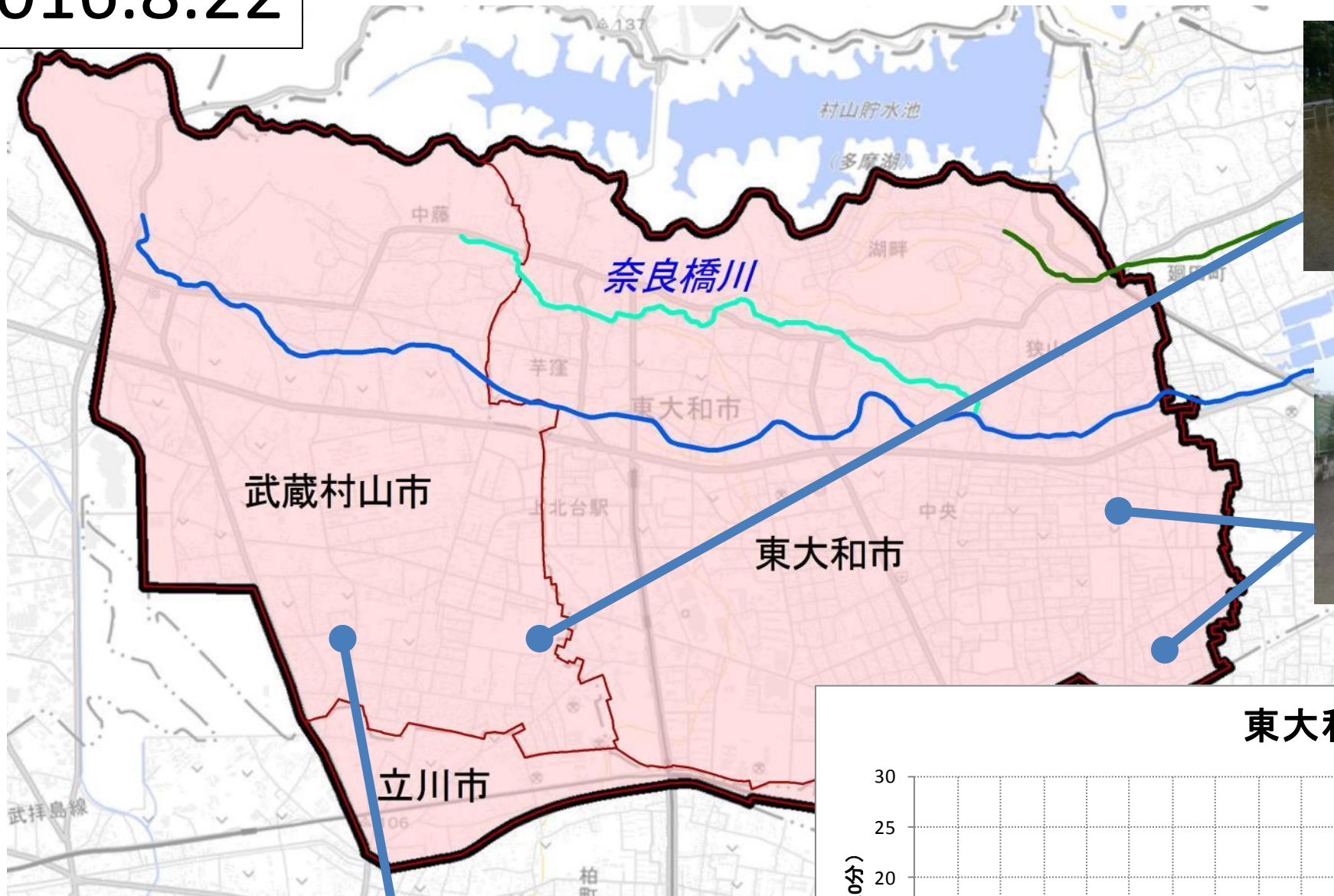


基礎調査(既存雨水排除施設)



基礎調査(浸水発生事例)

2016.8.22



(写真1)



(写真2)



武蔵村山市大南5丁目付近

(写真1)



(写真2)



東大和市仲原1丁目付近

東大和市新堀3丁目付近

(写真1)

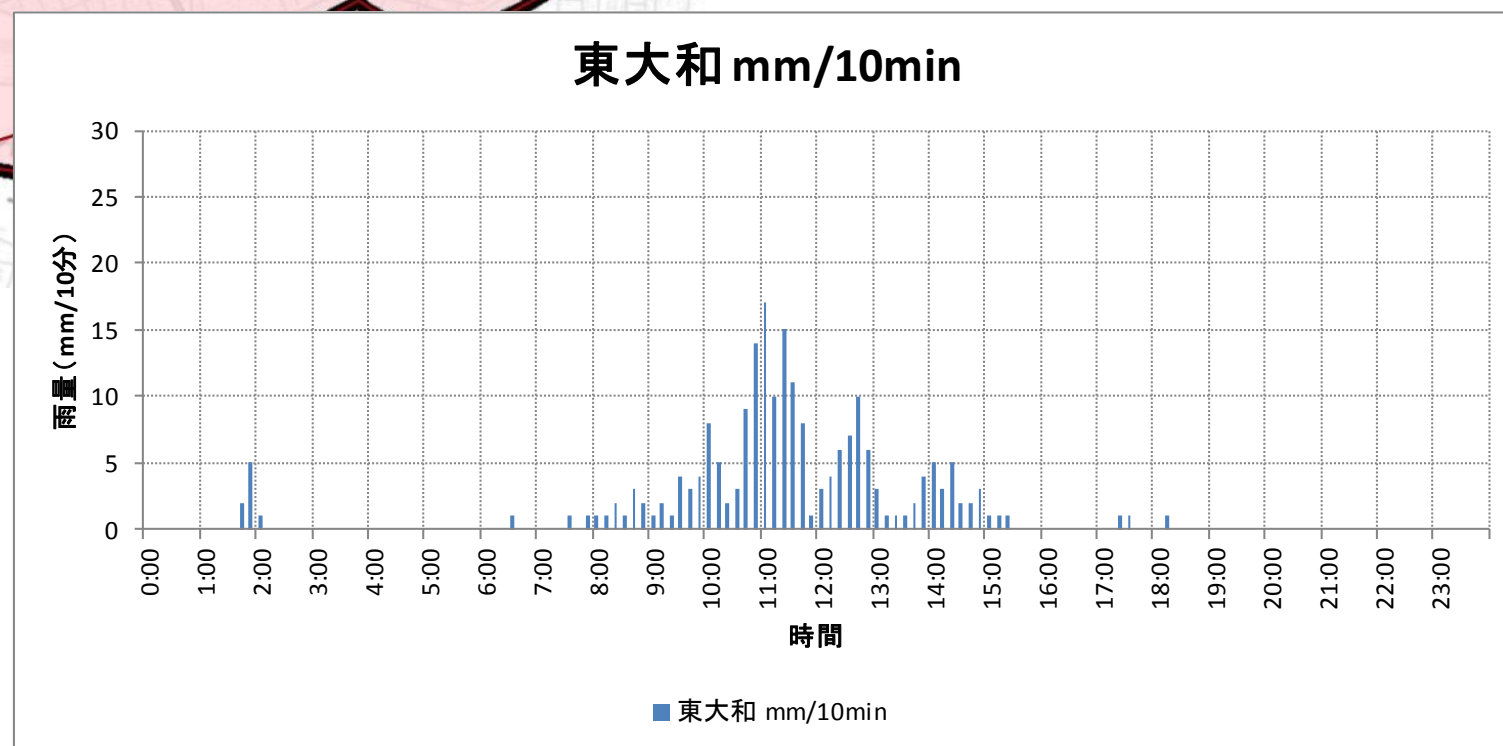


(写真2)



武蔵村山市大南1丁目付近

東大和 mm/10min

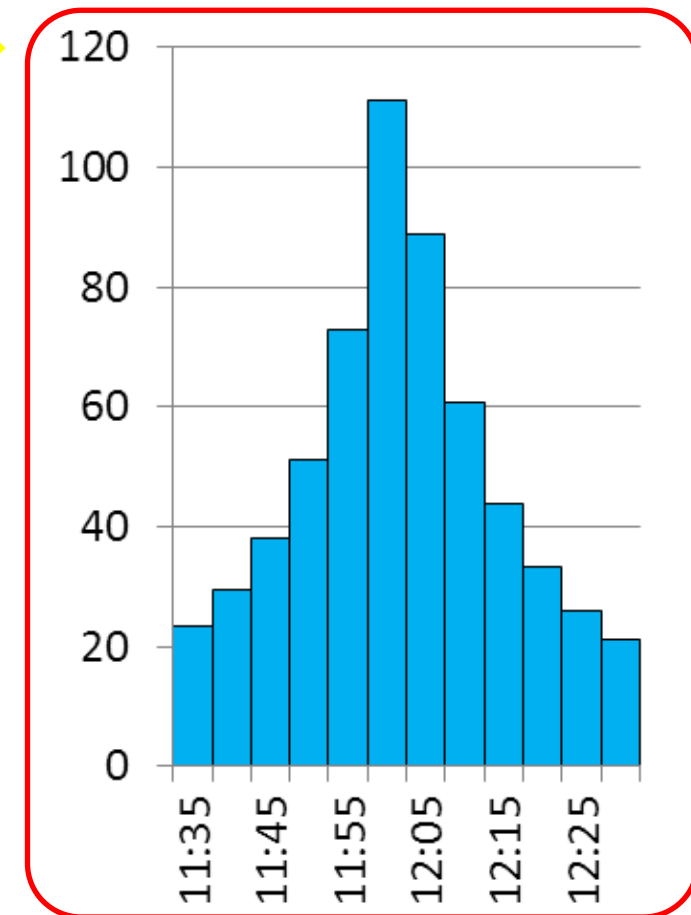
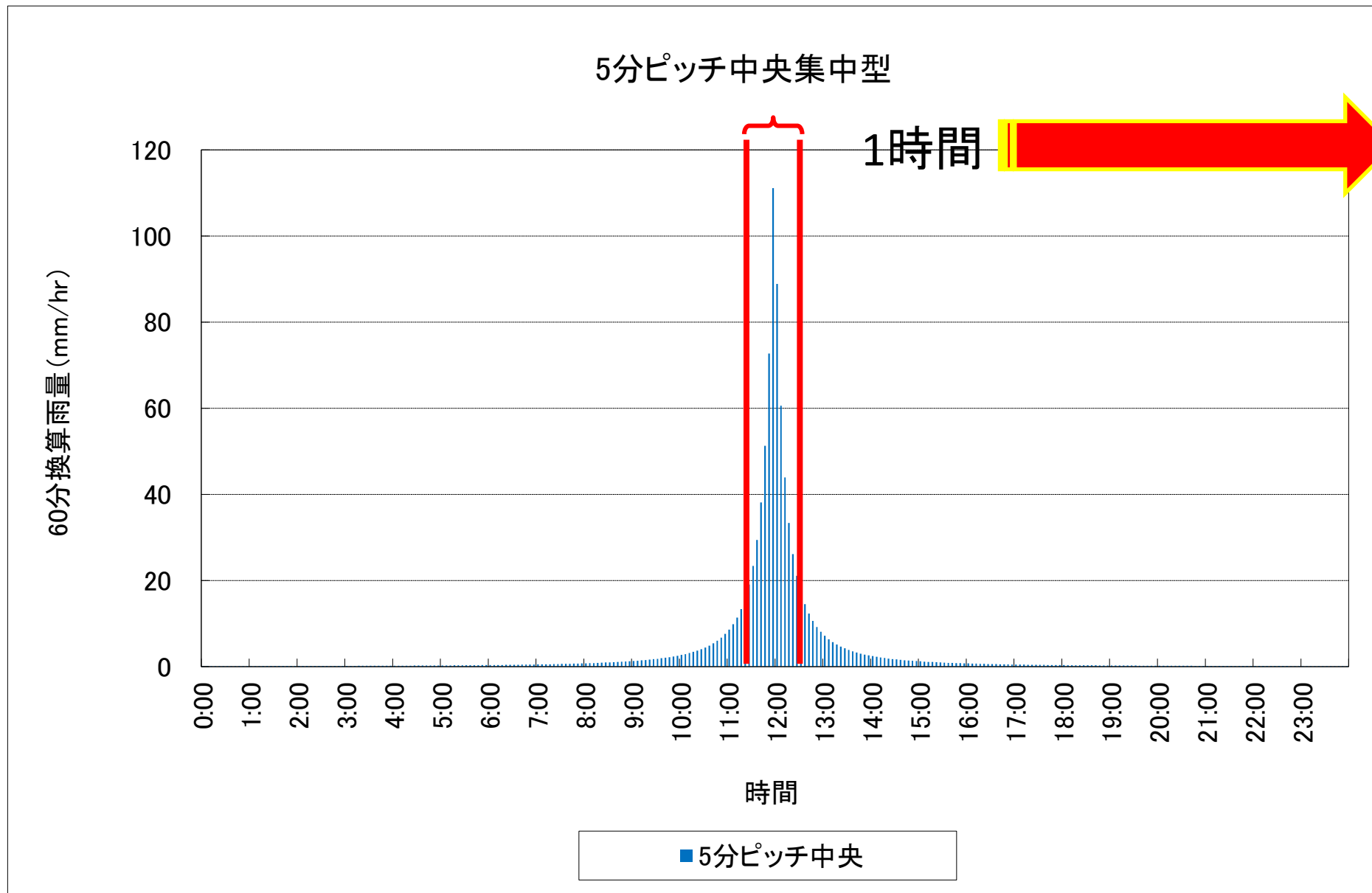


シミュレーション前提条件(計画降雨)

● 計画降雨の設定

シミュレーションに使用する計画降雨は以下のとおりとした。

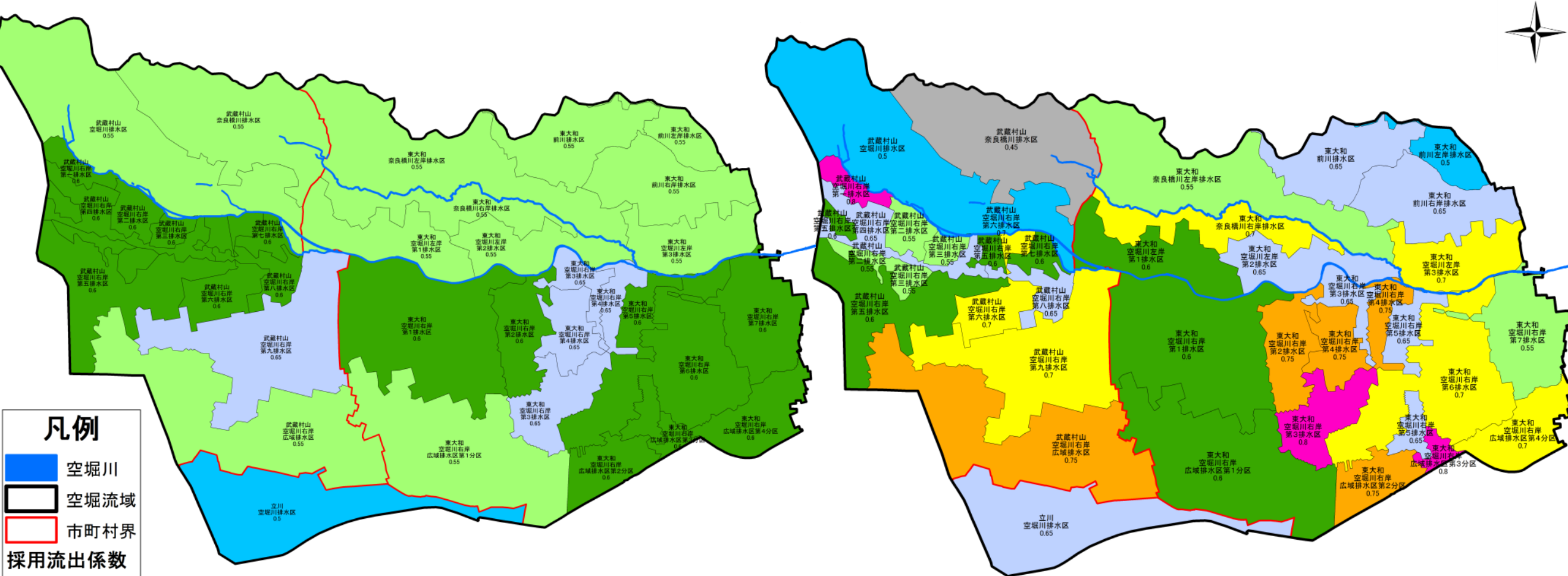
降雨強度式： $5,000 / (t+40)$ (t:流達時間)を元に作成
(時間50mm、5分ピッチ、24時間降雨、中央集中型)



シミュレーション前提条件(流出係数)

計画値

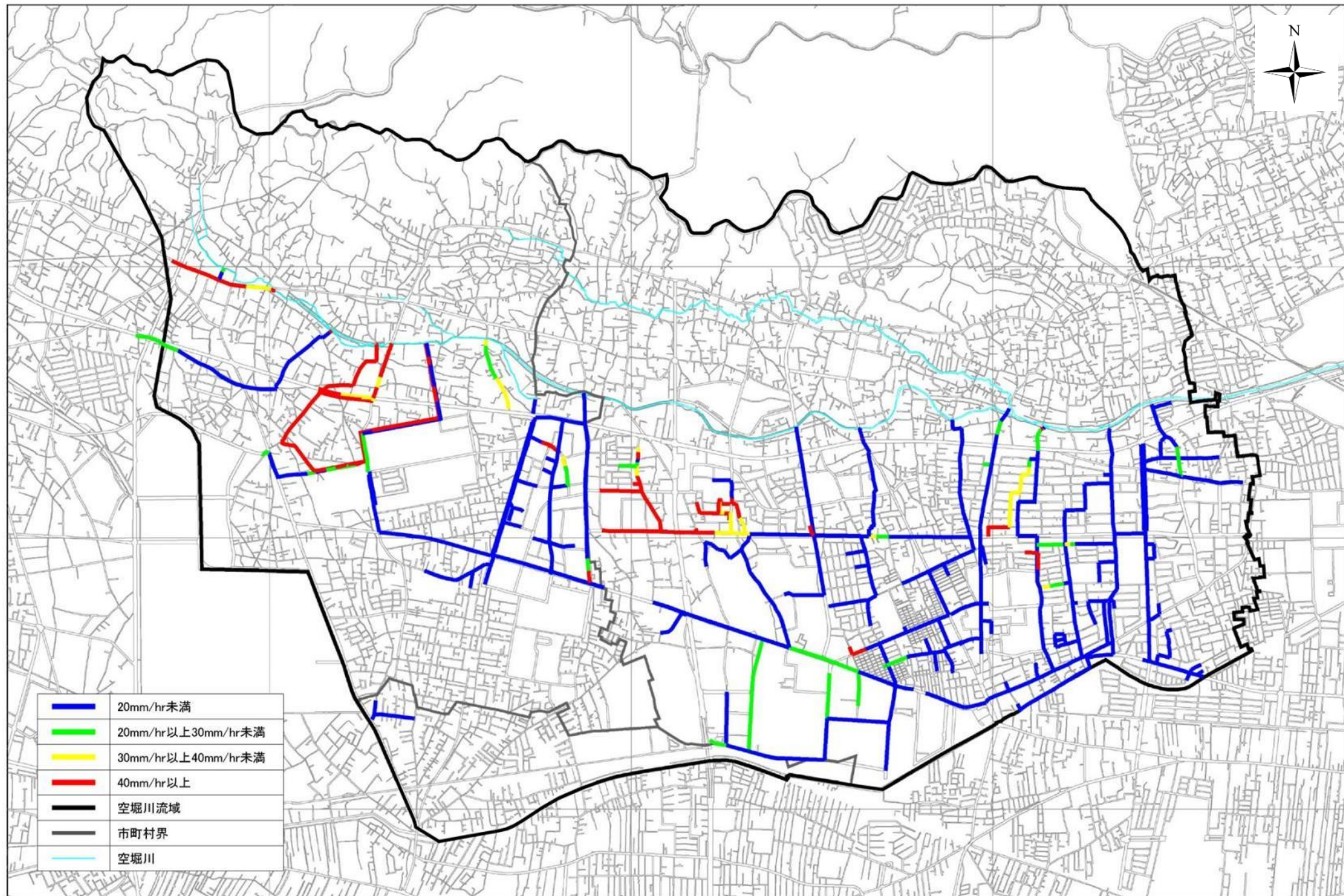
現況値(採用値)



- 凡例**
- 空堀川
 - 空堀流域
 - 市町村界
- 採用流出係数**
- 0.4
 - 0.45
 - 0.5
 - 0.55
 - 0.6
 - 0.65
 - 0.7
 - 0.75
 - 0.8
 - 0.85

現況の土地利用実態を元に流出係数を算出した結果、規定計画値より増加していることが判明
シミュレーションモデルは現況値を使用して解析する

シミュレーション結果(既設管能力評価)



現況の既設管の能力について解析した結果、大半が時間20ミリ以下であることが判明した